

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

令和3年度実施の全国学力・学習状況調査（「全国学調」）の国語では、語句の意味や文章を読んで内容を理解することについて、全国平均を上回る高い正答率でした。この他にも、文章からものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ設問においても、全国平均を上回る正答率でした。本校では、平成30年度より、「多面的な思考力を育成する学び合い活動の充実」を重点とした指導を継続してきました。その学習活動を通じて培った力が結果に表れてきたものと思われます。

質問紙調査の「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「している」と回答した生徒は57%と、平成30年度の調査と比較し、14ポイント上昇しました。これは、自分に必要な学習を生徒自らが考え、家庭で自主学習として、1年時から継続して取り組んできた成果と思われます。

課題と対応

数学では、事柄が成り立つ理由を説明することや、自分の考えを相手に効果的に伝わるように書くことにおいて、正答率が低く課題が見られました。そこで、国語や数学のみならず、すべての教科において、自分の考えを明確にしながら「説得力のある説明をする」「効果的に伝わる方法を考えて発信する」場を、意図的に設定したいと考えています。日々の授業の中で、これまでの学習内容を活用し、根拠を示しながら説明できるよう、授業を計画するとともに、「夕学」（帰りの会の際のミニ学習）や自主学習を利用し、学習内容の定着を図っていきたいと考えます。

質問紙調査の結果から、「平日、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか」という質問に対し、「4時間以上」「3～4時間」と回答した生徒が39.4%おり、全国平均よりも多いことが分かりました。竜操中学校区で共通して取り組む「笑顔プロジェクト」の活用や、自主学習につながる授業づくり等をおして、メディアとよりよい距離感を保った生活習慣の定着と家庭学習の習慣化を考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

全国学調の結果から、「勉強は大切だと思う」「問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」と回答した生徒が多く、これらが基礎学力の定着につながっていると考えられます。しかし、テレビゲーム（コンピュータ・携帯電話・スマートフォンを含む）等をする時間が長い生徒が多く、これにより家庭学習時間が十分確保できていない生徒も見られます。学校では、引き続き自主学習につながる授業づくりを目指すと同時に、メディアコントロールも含めた自己マネジメント力の向上を目指す取組を取り入れていきます。生徒の学力向上と、よりよい生活習慣の確立のために、メディア利用に関する家庭でのルールづくりや家庭学習の定着に向けた前向きな声かけなど、ご家庭におかれましても一層のご協力をお願いいたします。

令和3年度学習や生活に関する改善プラン（岡山市学力アセス）

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です

本校は、岡山市学力アセスの調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

【岡山市学力アセスの調査結果から】

成果

	教科・質問紙	成果
第1学年	国語	情報の扱い方に関する内容を理解している。
	社会	我が国の政治に関する内容を理解している。
	数学	四則計算のきまりを理解し、正確に答えを求めることができる。
	理科	実験の結果を論理的に説明することができる。
	英語	時刻に関する内容を聞いて、内容に合う動作を判断することができる。
	学習状況	授業での話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。
第2学年	国語	説明文やスピーチを読み、内容を読み取ることができる。
	社会	歴史的な社会事象の意義や意味を説明することができる。
	数学	正負の数や文字式の計算などの数学的な技能を身に付けている。
	理科	植物の分類や音の性質などの自然事象についてよく理解している。
	英語	英文を聞き取ったり読み取ったりして、その内容を整理して表すことができる。
	学習状況	将来の夢や目標をもち、学びを生かそうと前向きに取り組んでいる。

課題とその対応

	教科・質問紙	課題	対応
第1学年	国語	言葉の特徴や使い方の理解に課題がある。	国語では、語の成り立ちや意味を理解した上で、自分の考えを分かりやすく説明できるように取り組む必要がある。数学では、公式を適切に使用して、基本に忠実に計算していくことを定着させたい。英語では、基本的な表現を繰り返し学習をすることで、基礎の定着を図りたい。 学習状況については、ゲーム等に接する時間が長いことに課題があるので、家庭学習の時間の確保と同時にメディアコントロールを意識させる取組を行っていきたい。
	社会	我が国の国土に関することに課題がある。	
	数学	図形の面積や体積を正確に求めることに課題がある。	
	理科	自分の考えを文章で表現することに課題がある。	
	英語	曜日と日常動作に関する内容に課題がある。	
	学習状況	普段、1日あたりテレビゲームをしている時間が長い状況が見られる。	
第2学年	国語	確かな事実や事柄に基づいて、自分の考えを伝えることに課題がある。	国語では、日々の活動の中に積極的に自分自身の考えを表現し伝える活動を取り入れること、数学では、計算など数学的な技能を繰り返し高めていくことが必要である。英語では、ある程度まとまった英語を聞く・話す・書く学習活動を定着させていきたい。 家庭学習では、メディアの使用時間と内容をコントロールできる力を身に付けられるように、家庭と一緒に働きかけをしていきたい。また、次の授業につながる学習内容を予想させるような課題を生徒たちに提示するなど、今まで以上に内容や量を検討して課題を出すよう工夫していきたい。
	社会	地図の特徴を、複数の資料を使って関連付けて説明することに課題がある。	
	数学	平面図形や空間図形の面積や体積を求める技能に課題がある。	
	理科	地層の規則性を見出すことに課題がある。	
	英語	テーマに沿って英文を作ることに課題がある。	
	学習状況	家庭学習の時間が、市平均を上回る割合が高い一方で、大幅に下回る割合も高くなっている。	

【保護者・学区の方へのお願い】

1年生・2年生ともに、家庭において宿題や予習・復習に取り組む時間が短いことに課題が見られました。限られた時間を有効に活用するためにも、目的意識をもって、宿題や予習・復習、個々の課題に応じた学習に取り組むことが大切です。「学習の手引き」「自主学習ノート」「学習計画表」などを活用し、学習の習慣化を図ることで、家庭学習が充実するよう、学校でも指導をしていきますが、ご家庭においても携帯電話やスマホ、ゲーム等の利用を含めた時間の使い方についてお子様と話し合う場をもち、時間の使い方についてのお声がけをお願いします。